

主な記事

- 生涯学習推進大会 / 植樹祭 ..... 2
- ふきあげ図書館 ..... 4
- ゴミ事情 ..... 6
- まちの話題 ..... 8
- 市民の広場 ..... 18

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

# ひびき

HIOKI JOURNAL MAR. 2006



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)  
 総人口 53,162人( 107 )  
 男 24,829人( 54 )  
 女 28,333人( 53 )  
 世帯数 22,130 ( 77 )  
 3月1日現在( )は前月比  
 市の面積 253.02km<sup>2</sup>

今月の紙



ひな祭りのモチつき  
 庭に並べたテーブルでおばあちゃんたちに教わりながら、モチを丸める。中には丸めるそばから口におぼる子も。  
 (2/25 伊集院北保育所)



10 平成18年3月号

発行 / 日置市役所  
 総務企画部企画課  
 〒899 2592  
 日置市伊集院町第一丁目100番地  
 TEL 099(273)2111  
 FAX 099(273)3063  
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

わが地域



会長 濱崎 満洋さん

平比良自治会(東市来地域)  
**集落の元気の源は話し合い活動から**

東市来支所から西へ約三キロ、江口川河口近くの江口橋を渡る、国道に沿って広がる集落に三十九世帯、約百十人が暮らします。  
 伊作田校区十二集落の中でも、小規模な自治会ですが、小学生の数は十八人と校区最大の江口自治会(約二百世帯)に次ぐ多さ。高齢化率も二十三%弱と東市来地域でも指折りの低さ。集落の花をコスモスと定め、集落内をコスモス(うめよう)と「二一」くなく取り組みも。



▲自治会員総出て祝った公民館改築落成祝い

公民館の改築落成式を一月二十九日に終えたばかり、総出で完成を祝いました。戦前戦後を通し、集落の歴史を刻み、集落民の喜怒哀楽を見つめてきた築七十年を越える館は、梁と柱を残し大規模に改修され見違えるようになりました。建設費は約六百万円。市からの補助金のほか、思いもよらないほど多くの資金が集落外で暮らす出身者からも寄せられました。郷里に寄せる熱い思いを強く感じ、館を拠点に地域が一体となり集落の発展に努めることが恩に報いることと意を新たにしています。  
**地** 域づくりには話し合い活動が不可欠。毎月十日に定例の集落運営委員会を開催し、行事開催に向けての協議はもちろん、子どもたちの状況や高齢者の問題、環境問題など、折々の集落内の様子を情報交換し、問題があれば総ぐるみで解決に向け取り組むようにしています。小さい集落ですが、元気だけはどこにも負けないという気概もあり、市民運動会の自治会対抗種目にもすべて出場しました。

**子** どもたちに鬼火たきを体験させようと復活させたのは昭和五十年ごろ。おそらく県内でも早かったと思います。新年会や六月灯をはじめ集落の行事には必ず子どもたちも参加させ役割を与えています。子どものための行事にも保護者はもちろん高齢者にも声をかけ、集落ぐるみで子どもたちを見守ってくれています。おかげで、行事を通して親子のふれあい、地域とのふれあいができ、子どもの声が響く元気な集落になっています。  
**会** 長は舵取り役。地域づくりへの思いを伝え、すべては地域総ぐるみの話し合い活動から。それが地域の活性化につながります。



▲出身者の思いもこもったりっぱな館が完成

編集たいむ

三月は涙の季節。別れ？旅立ち？イヤそんなんじゃない。やつの思いで涙目を開いて仕事を続ける日々。だれだ！今年のスギ花粉は少ないと言ったのは▼オリンピックが終わった。長い間積み上げた努力に気の緩みなどあるはずもないが、結果が伴わなかった多くの日本選手。四年後の目標達成に向け再スタートを切った選手も少なくない。一瞬の勝負にかけ、取り組んでいく決心や達成させようとする精神力は想像もつかない▼四月入学。就職・転職と、環境が変わり、新天地で気持ち新たに人とも多い。目標を持ってスタートする人ともそうでもない人はそこですでに差がつくというもの。ここはひとつ五輪選手に負けないくらい夢のある大きな目標をもって出発してほしい▼息子も高校を卒業し東京の大学に進学。娘はすでに会社人。娘・息子と十年間続いたクラブや学校、部活の送迎と、PTA活動から私も卒業だ。長い間、子ども中心でまわっていた家庭生活は一転する。ついでに仕事も新天地で新たにしていきたいが。金×タールの荒川選手のようにいい顔で新年度を迎えよう。

# 恵み豊かな森林づくり 東市来で植樹祭

## 日置地区植樹祭

日置地区植樹祭が2月4日、東市来町「こけけドーム」でありました。

「つくろうよ 小さな芽から 大きな森へ」をテーマに、林業関係者や緑化活動推進員、緑の少年団など約350人が参加。会場隣の東シナ海に面したグラウンドゴルフ場周辺に抵抗性クロマツ400本を植樹し、恵み豊かな森林づくりへの誓いを新たにしました。



東土の約三分の二を占める森林が果たす役割は、わたしたちの生活に深いかわりを持っていきます。洪水や土砂災害などの自然災害の防止と土壌の保全、雨水を蓄えて湧き水・地下水といった水源の確保、さらには地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸収し、酸素をつくりだすなど、人間にとって大切な多面的な機能を持っています。吹上浜の松林も同様です。美しい景観で魅力的な空間をつくりだしてくれるばかりでなく、昔からわたしたちの農地や住まいを風砂害や塩害から守ってくれています。

### 森林を守り育てる

植樹祭は伊作田小学校トランペット鼓隊の演奏で幕を開けました。長年、林業振興や緑化活動に貢献した個人や団体に地区林業振興協議会長賞などを授与、植樹祭テーマコンクールで最優秀賞に選ばれた東市来中二年の牧野由香さんと優秀賞の六人も表彰されました。また、東市来町の「遠見番山緑の少年団」の徳留正明君と大園侑花さん（ともに湯田小）が「防ごう地球温暖化」と題して活動発表。地球温暖化現象と森林の持つ役割を話し「わたしたちの暮らしを守り、人や動物の生命を守るために、森林を守り育てることが大切」と訴えました。



▲ 林業振興等の功績を表彰

日置市長表彰  
東市来町下養母自治会  
日置地区林業協会会長表彰  
林業・緑化功労者

これら森林の持つ他面的な機能が失われることがあれば、わたしたちの生活は大きな影響を受けてしまいます。森林づくりをもちよることもなく、恵み豊かな森林を守り、次世代に引き継ぐことが、私たちの使命であることを認識しなければなりません。植樹祭で表彰された市内関係者は次の方々です。（敬称略）

**日置地区林業振興協議会長表彰**  
林業・緑化功労者  
南義孝（伊集院町）  
林業技術競技会  
銚原清志（東市来町） 瀧間弘次（伊集院町） 今村幸太郎（伊集院町）  
林道維持管理コンクール  
日置市（東市来町）



▲ 活動発表する遠見番山緑の少年団

鹿角島緑の少年団活動発表大会  
優秀賞 遠見番山緑の少年団（東市来町）

**植樹祭テーマコンクール**  
最優秀賞  
「つくろうよ 小さな芽から 大きな森へ」 東市来中二年 牧野由香  
優秀賞  
「緑いっばい ゆめいっばい みんなで守ろう ゆたかな自然」 鶴丸小三年 野元美樹  
「木を植えて みんなで止めよう 温暖化」 伊作田小六年 中村直人  
「育てよう 緑の大地と 自然のめぐみ」 湯田小五年 深河未優  
「みんなの森 次の世代へ バトンタッチ」 上市来小六年 上和田夏海  
「つなげよう 次の子どもへ 緑の大地」 美山小五年 丸田智士  
「みんなが守ろう 美しくすばらしい 日置の自然」 上市来中三年 福田菜月

# 学ぶ意欲にあふれた 心豊かな人生

## 日置地区生涯学習推進大会

2月4日、東市来文化交流センターで日置地区生涯学習推進大会と東市来地域生涯学習フェアがありました。

「心豊かで学ぶ意欲にあふれた新たな生涯学習の創造」をテーマに、社会教育関係者や学級講座生など約350人が参加。それぞれの学習の成果を学び、これからの生涯学習のあり方を考えました。



大会は東市来中央公民館コーラス講座生の歌声で開幕、素晴らしい学習の成果を披露しました。長年、社会教育団体の運営や活動に功績のあった個人や団体を表彰後、地区内のこの一年の生涯学習の取り組みを紹介。引き続き、吹上地域和田地区公民館の三窪社会教育指導員が、地区公民館専門部組織が連携した地域づくりや地区公民館を拠点とした生涯学習活動の取り組みを発表。東市来地域の中央公民館講座「社交ダンス」の講座生の皆さんは息のあったダンスを披露しました。また、鹿屋市申良町の柳谷自治公民館長の豊重哲郎さんが「旬の活動で、己に感動、社会に貢献」と題して講演。行政に頼らない、地域住民参加型の特色ある取り組みで、活気あふれる地域づくりを実践した話に、参加者は熱心に耳を傾けました。大会で表彰と表彰伝達のあった市内関係者は次の方々です。（敬称略）

**日置地区社会教育関係優良団体個人**  
日置地区社会教育振興会表彰  
馬場口藤雄（東市来町） 今村福治（伊集院町） 伊堂寺重義（日吉町） 野崎利則（吹上町）

**表彰伝達・紹介**  
文部科学大臣表彰  
日新小学校PTA（日吉町）

**地域の人材は「人」**  
柳谷自治公民館長 豊重哲郎さん  
なんとか取り戻そうと住民総参加の地域づくりを実践。  
家畜ふん尿の悪臭解消のための土着菌活用や、生ごみ排出ゼロを目指すなど、環境対策にも取り組んでいます。  
行政の補助金に頼らない地域づくりに取り組むため、地域の遊休地を借用し、子どもでも一緒に参加できるさつまも作りで、活動資金の創出と集落住民の参加の輪を広げています。

大隈半島の中央部笠野原台地に位置する柳谷集落。のどかな風景の広がる農村集落で、過疎にもまれて活力のなくなる集落の活力を

全国子ども会連合会表彰  
和地区子ども会育成会（吹上町）  
全国子ども会連合会表彰および四十周年特別表彰  
松尾四男（伊集院町）  
県優良少年少女団体表彰  
朝日ヶ丘子ども会（伊集院町）  
天昌スポーツ少年団（吹上町）  
県子ども会育成連絡協議会表彰



▲ 功績のあった個人や団体を表彰

中島昭（吹上町） 花田地区子ども会育成会（吹上町）  
県「コミュニティづくり推進優良団体表彰」  
日吉地域生活学校（日吉町）  
**東市来地域生涯学習功労者**  
竹下昭典（鶴丸校区社会教育協議会） 山之口逸子（鶴丸校区社会教育協議会） 園頭國盛（伊作田校区社会教育協議会）



▲ 成果を発表する「社交ダンス」教室の皆さん

# 待望の図書館が吹上に完成

## 5月オープンに向け準備

吹上町中原、旧伊作駅裏に図書館が完成しました。名称は『ふきあげ図書館』。建設計画が策定されたのが平成六年、財政事情などにより計画が見直され、当初計画より五年以上遅れての完成となりました。

吹上地域の市民が長年、完成を待ち望んだ図書館は五月の開館に向け準備中です。



▲ 窓に向かって閲覧カウンターが広がる



▲ 自然光がたっぷり入る館内(自然木モニュメントが中心に)



▲ 充実した児童図書コーナー



▲ 手前がDVDコーナー、奥はパソコンコーナー



▲ ティーンズルーム(手前)の奥は畳コーナー



▲ 開館に向けて駐車場を整備中(外観)

# 子育てにやさしい図書館 絵本や児童図書を充実

## 平屋建て、〇八五㎡ 旧吹上町有林材を使用

図書館は当初の計画より約六年遅れて、平成十七年二月に着工、平屋建て床面積一、〇八五㎡のバリアフリーの施設です。

鉄筋コンクリート造りですが、温かみのある雰囲気を出すために、内部はできるだけ木材を使用するように設計、エントランスホール

にそびえる幹回り約二・五層の木の天然木モニュメントをはじめ、床に使用したヒノキの圧縮材、壁や天井のスギなど、可能な限り、旧吹上町有林材を使用しました。

バスターミナルも整備され、アクセスも良好です。

## DVDコーナーや 自動貸出機も設置

館内には、映画や映像資料を個別に閲覧できるDVDコーナー(六席)やインターネットを利用できるパソコンコーナー(六席)をはじめ、中高校生向けのティーンズコーナーやゆつくりとくつろげる

スペースも設置。また、子育てにやさしい図書館をテーマに、ゆつたりとした幼児・児童コーナーやビデオやDVDなどをスクリーンで鑑賞できるお話室も設置したほか、絵本や児童図書も充実させました。

本にはICタグが装備され、自動貸出機も利用できる、先進的な図書館の完成です。

## オープンは5月11日

日置市内にはふきあげ図書館のほか、伊集院地域に中央図書館、東市来地域に東市来図書館、日吉地域に中央図書館日吉分館があります。市民あるいは市内に通勤、通学する人であれば、どなたでも

図書館資料の貸し出しを利用できますが、登録が必要です。システムの関係で、東市来図書館以外の三館は、いずれかの図書館の利用者登録があれば利用できますが、東市来図書館は単独の登録が必要になります。

生活の多様化、高度情報化、高齢化が進む中、豊かで快適な生活をおくるためには新しい知識、情報を得ることも大切で、図書館の存在は不可欠です。本や雑誌などの資料を自由に選び、借りて、好きなときに読める図書館を気軽にご利用ください。

櫻井 弘美さん(西本町)

読み聞かせグループ  
「ぼけっとファンタジー」代表

## 図書館へ行こう



素晴らしい図書館が完成し、うれしいの一言につきま。蔵書が増え、パソコンの利用やDVDソフトの視聴もできるので楽しみ。買い物帰りに気軽に立ち寄れる場所、子どもだけでなく大人も足を運んでほしいですね。サービスを充実させ、だれでも行きたくなる環境をつくってほしい。わたしたちも定期的なお話会などを企画し、図書館機能を生かしたいと思っています。

図書館を核に郷土学習や親子読書会との連携など、学校と協力した取り組みが充実することも期待しています。

川原 修さん(下与倉)

図書館建設意見聴取委員

## 待ち遠しかった完成



設計等に住民の声を反映させる会として、建設に携わったのが平成十三年から。完成が待ち遠しかったというのが感想です。設計書を見せていただき、いいのができると実感していました。立地条件も交通の拠点となる最高の場所。学生も利用しやすいし、お年寄りもゆつくりできそう。自分のまわりの図書館として、市全体で利用していただけるの、と期待しています。

先進的な図書館の完成、家庭から蔵書や貸し出し状況などを問い合わせることができるようなシステムができるといいですね。

## ふきあげ図書館 平面図



# コンテナ収集は再検討

## 18年度は従来の収集方式

旧四町のゴミ収集方式の統一に向け、四月から日置市全体で導入予定だった「コンテナ方式」によるゴミ収集が見送られます。

コンテナ収集はゴミの減量化と資源化の促進を図る目的で、旧伊集院町が平成十五年度から全域で実施。ゴミの減量、資源化に関心をもってもらう上でも有効な取り組みとして、市全体に導入を計画し、東市来、日吉、吹上の三地域では、平成十七年十月からモデル地域で、試験的に取り組んできました。

一方で、従来の袋収集の場合、次のような問題点や利点があります。

- ・（高齢者等の搬入手段など）従来の袋収集に比べ、総体的に経費がかかる。
- ・早期作業の困難性と天候に左右される。
- ・プライバシー上の問題がある。
- ・コンテナ収集の利点
  - ・市民のゴミ分別意識が高まり資源循環型社会の構築につながる。
  - ・共同作業により、自治意識が高まることともに、収集所の適正な管理が期待できる。
  - ・異物混入を防げる。

- ・袋収集の利点
  - ・伊集院地域以外はこれまでの収集形態に近い方式で抵抗がない。
  - ・収集所が近くなる。
  - ・共同作業が不要となりゴミ出しに時間的な拘束がなくなる。

結果として、十八年度は現在の収集方式を継続することになりました。地域によって収集方式が異なったままということになります。

### コンテナ収集とは

ゴミの分別の徹底と資源化を促進するために、従来の袋による収集でなく、専用のコンテナやネットを使って収集する。伊集院地域では缶類、ビン類、紙類、ペットボトル、プラスチック製容器、紙製容器包装、不燃ゴミ、有害ゴミなど、細かく分別し、地域によって月一〜二回のペースで収集している。

- ① 収集日の朝、決められた時間に排出したゴミをコンテナやネットに分別する作業が必要（約三十分〜一時間）
  - ② 作業スペースやストックヤードの確保
  - ③ 分別を徹底させるために、分別指導員や分別補助員を地域で配置する。
- 袋収集と比べて、異物の混入のチェックができたり、ゴミ排出へのモラルの向上につながるが、収集所ごとの作業が必要となるため、地域住民の一層の理解と協力が必要になってくる。

## ゴミ事情

うしたなか、コンテナ方式にさまざまな意見があり、導入に向けてはさらに検討することになりました。集約すると次のとおりです。

- ・ **コンテナ収集の問題点**
  - ・ 分別を徹底させる上で指導員や補助員が必要となるが、地域での確保が困難である。
  - ・ 収集作業ができる場所の確保が必要な上、収集場所が限定されるため、収集所まで遠くなる。

・ ゴミ袋の購入が必要となる。

- ・ ルールを守らないゴミ袋が収集所に取り残される可能性や袋が管理上の問題がある。
- ・ クリーンリサイクルセンター職員による手選別が必要となる。
- ・ 雨天時の古紙収集の問題

・ ゴミは消費生活の結果であり、排出するのはわれわれです。ゴミは出した人が最後まで責任を持つことは言うまでもなく、その処分については一人ひとりが関心を持つことが必要です。ゴミ収集はどんなシステムが一番いいのか、地域の問題として考えてみましょう。

## 南九州美術展

### 秀作・力作ぞろい 一万点を超える応募

第五十三回南九州美術展が開かれ、二月二日にあった審査会で、美術部門の特別賞（六〇点）、特選（一〇九点）、入選（七〇〇点）、書道部門の特別賞（二〇点）、特選（三一点）、入選（一九三点）が決定し、二月十六日から二十一日まで日置市中央公民館と伊集院文化会館で入賞作品の展覧会がありました。

同展は、武徳を培う「妙円寺詣り」に対して、芸術を通じた情操も兼ね備えた青少年教育をと、故門松周一さんが創始者となり「伊集院町総合美術展」として昭和二十八年に始まったもの。第十回から「南九州美術展」と改め、五十三年を数える歴史ある美術展です。

今年には県内各地から、幼児から高校生まで美術部門に八、五三六点、書道部門に二、五〇六点の応募がありました。一万点を超える作品の審査会は丸一日がかり。年々、技術も向上、甲乙つけがたい作品が多いこともあり、審査は慎重に行われました。秀作・力作ぞろいの展覧会にも大勢の市民が訪れました。

市内の特別賞受賞者、学校賞は表のとおりです。（敬称略）



▲ 審査風景 (美術の部)

### 最優秀受賞作品



鹿児島県知事賞「大きな魚」  
秋山 紘節 (伊集院北小3年)



鹿児島県知事賞「近所の風景」  
堀之内祐文 (伊集院北中1年) 日高愛華 (伊集院中1年)



栄光  
伊集院中学校一年日高愛華

#### 美術の部

賞	種目	氏名	学校等
鹿児島県知事賞	描画	秋山 紘節	伊集院北小3年
	描画	堀之内祐文	伊集院北中1年
鹿児島県議会議長賞	版画	折田有佳里	美山小5年
	版画	尾堂 仁美	土橋小3年
鹿児島県教育委員会賞	描画	山下 翔	伊集院北小1年
	版画	東 木乃美	土橋小4年
南九州美術展賞	描画	内野 皓史	妙円寺小6年
	版画	崎野 愛梨	朝日ヶ丘幼稚園
鹿児島県美育協会賞	描画	比良 亘助	土橋小3年
	描画	西園 勇希	伊集院北小1年
南日本放送賞	版画	住吉 宏章	伊集院北小6年
	描画	本村 圭太	飯牟礼小4年
K T S 賞	描画	下 留未佳	土橋小1年
	描画	今園 修平	朝日ヶ丘幼稚園
鹿児島市長賞	描画	岩戸 啓恭	土橋小2年
	描画	小辻 雅嗣	飯牟礼小1年
日置市長賞	描画	福丸 菜徳	土橋小4年
	版画	黒木 美徳	日置小4年
日置市教育委員会賞	賞	土橋小学校	
	賞	妙円寺小学校	
	賞	伊集院北小学校	
	賞	飯牟礼小学校	

#### 書道の部

賞	部門	氏名	学校等
日置市長賞	半紙	日高 愛華	伊集院中1年
	四つ切	濱田 薫	伊作田小6年
	条幅	溜池 美咲	伊集院小5年
日置市教育委員会賞	半紙	大園 侑花	湯田小6年
	半紙	菊水紗也子	妙円寺小4年
	条幅	村尾 文香	伊集院北中1年
日置市校長会会長賞	半紙	松尾 真由	湯田小1年
	半紙	東 奈津美	伊集院小5年
	半紙	藤脇 孝哉	伊集院北中2年
日置市福祉協議会会長賞	半紙	藤脇 孝哉	伊集院北中2年
	条幅	前平 夏美	伊集院北小5年



▲ モデル地区での取組 (吹上町東本町)

東市来中で  
体験教室

命の尊さ  
生きる力を学ぶ



一月十九、二十、二十四日の三日間、東市来中の三年生（百十七人）を対象に、妊娠や育児に関する知識を理解し、命の尊さや思いやりの心を育てる「いのち・ふれあい体験教室」が行われました。

生徒らは重水里美さんや船倉裕子さんの妊娠体験談や保健師による妊娠と胎児の発育についての講話、妊婦の擬似体験をおし、命の尊さを学びました。

擬似体験をした碓山明伽さんは「おなかが増えて歩にくかった。お母さんは大変な思いをしていただいた」と感想をもらしました。



一月二十八日、東市来町法人会（会長 西ノ園純男）の役員が、社会貢献活動の一環として美山にある社会福祉法人児童養護施設「友愛学園」を訪問、子どもたちと一



緒にケーキ作りを体験し、交流を行いました。

講師は、菓子組合の若山敏和さんと楠優さん。子どもたちは、チーズケーキを十二等分にしたり、モ



ンブランに栗を乗せ、二百個ほどのケーキを完成させました。

早速、できたてのケーキを口いっぱいにはおぼりながら楽しいひとときを過ごしました。



東市来町法人会

友愛学園で  
ケーキ作りに  
挑戦

のぼる煙に薩摩焼の歴史を感じ  
美山ならではの風情を楽しむ

みんなで登り窯を焚こう

二月十二日、東市来町美山で「みんなで登り窯を焚こう」が開かれ、薩摩焼四百年祭を記念してつくられた登り窯「四百年窯」に、地域内外からたくさんの方が訪れ、餅つきやミニコンサートなどを楽しみました。

これは地元の青年会「むつみ会」(中村治会長)が中心になって、早春の美山を楽しむ手作りの催しをと平成十五年から始まったもの。

前日に火入れし、赤々と火が踊り、煙が立ちのぼる登り窯の前では、窯元の十五代沈壽官さんが登り窯のしくみを説明、実際に窯たきを体験しました。

登り窯前広場ではイベントを盛り上げようと、美山小PTAや地域の婦人部の協力で、餅つき大会も。会場を訪れた人に焼いた餅やせんざい、焼酎などが振る舞われました。

さらに即席の野外ステージとゴザに火鉢が並べられた観客席も目見え。竹林からやわらかい木漏れ日が差し、姿を消しつつある登り窯の煙と薪で火をたく懐かしい



案内役は子どもたち  
歩きながら歴史を学ぶ

ふれあい史跡めぐり歩こう会

二月二十一日、東市来地域の上市来校区で「ふれあい文化財史跡めぐり歩こう会」があり、幼児から高齢者まで、家族連れなど約五百人が参加しました。

これは東市来地域子ども会育成連絡協議会が主催し、地域の文化財や史跡を歩いて回り、郷土の歴史や文化に親しみながら、世代間の交流も図ろうというもので、今年が二十七回目。

毎年、校区を順番に巡っていますが、今年は上市来校区田代地域の九つの史跡などを歩く全六・五



このコースで行われました。それぞれの史跡の前では、案内役の小中学生が簡単に説明。その後、文化財保護審議会委員や教育委員会の担当者に講師として協力してもらい、歴史的な背景や地域とのかかわりなど、詳しく説明するという流れ。

説明を受けながら見る文化財や史跡に、郷土の歴史を再認識する人も多く、参加者は地域の歴史や自然に触れながら、心地よい汗を流しました。

教育会  
郷土講演会  
自分史を語る

二月三日、上市来中学校（生徒数四十二人）で、郷土教育講演会が行われました。

この講演会は、同中卒業生で各界で活躍されている人を講師に招いて行われるもので、今年も元東市来町教育長の石神正明さんと元自治公民館長の恒吉信雄さんと八人。学年ごとに二人の講師が、小・中学校時代の体験や郷土教育の精神、戦後の体験と仕事などについて話し、生徒らは熱心に聞き入っていました。



「登り窯をたくという美山ならではの文化を体験しながら、火鉢を

囲むというなつかしい一家だんらの雰囲気味わって楽しんでほしい」と中村会長が話すように、訪れた人は、ゆつくりと流れる風情ある美山の早春を満喫しました。



▲モチつきイベントを盛りあげる



▲火鉢にあたりながら楽しむフルーツ演奏

延世大学  
バスケットボール  
交流試合

プロ級の技、随所に  
鹿児島選抜を圧倒



二月三日から来鹿していた韓国の延世大学バスケットボール部が二月五日、伊集院総合体育館で、鹿児島成年選抜チームを相手に親善試合をしました。

延世大学バスケットボール部はアメリカの人気プロスポーツNBAにも選手を出している、韓国トップクラスの強豪。前日、市内の小中学生を対象に教室を開いたり、公開練習をするなど、会場にもなじんでいた同部は、体格と技術、すべてに上回る格の違いを見せつけました。

結果は148対77と延世大学が圧勝、一流のプレーを一目見ようと詰め掛けたバスケットボールファンも早くも正確な動きに大歓声をあげていました。同部は、その後二月十六日まで、吹上浜公園体育館で強化合宿を行いました。

登下校の安全 高齢者クラブも支援

シニアスクールガード

二月二十三日、伊集院地区公民館で日置市シニアスクールガードチームの結成に向けての協議会があり、高齢者クラブ、学校、PTAの代表者などが参加しました。シニアスクールガードとは、各地で相次いでいる子どもを狙った犯罪から、子どもの安全を地域で守ろうと、高齢者クラブへの協力を依頼するもので、登下校時における児童・生徒の安全確保がおもなもの。通学路での声かけや、下校時にあわせ、買い物や散歩をす

る「など、安全な登下校を見守る活動への協力が話し合われました。市高齢者クラブ連合会の大西早苗会長は「子どもたちを守るという意識を市全体に広げていくために協力したい。継続させるために無理せず、できることから始めよう」と協力を快諾。「腕章や帽子といったパトロールの装備があれば」などの意見が出されました。今後、学校単位で地域の高齢者クラブと連携しながら、活動を進めていきます。



日本伝統の喜劇  
中世庶民の笑いを体験

土橋中で  
狂言  
体験教室

二月八日、土橋中学校（宮元一頼校長・生徒数39人）で、狂言の体験教室があり、保護者十数人も一緒に、日本の伝統文化を楽しみました。狂言は、庶民の日常生活で起こるこっけいで風刺的な笑いを題材とした室町時代の喜劇。現代の言葉に近い日常的な話し言葉で演じ



▲ 舞台衣装を身に着けさせてもらう山下翔平君

られるため、現代でも親しみやすい歴史ある笑いの芸術です。講師は京都の狂言師茂山千五郎家で修行し、現在、県内で狂言の公演や普及活動に活躍している吹上町出身の山下守之さん。ほとんどが初めて触れる狂言、山下さんはその歴史や楽しむポイントなどを分かりやすく紹介。三年生の山下翔平君をモデルに実際に舞台衣装を身に着けさせた後、生徒たちに主人が太郎冠者（従者を呼ぶという代表的な一場面のせりふを練習させました。代表で、その場面を実際に演じた山下君と岡留先生は即興の劇にもかかわらず、息のあった掛け合いをみせ、会場内は思わず爆笑。「これだけ



▲ 即興の狂言を披露



▲ 柿山伏を演じる山下さん

笑いをとれるとはたいしたもの」と講師の山下さんはべた褒めでした。生で鑑賞する機会の少ない参加者を前に、山下さんは「旅の途中、どの湯きにもたまらず、柿の実を盗み食いする山伏と柿の木を持ち主とのやりとり」を題材にした「柿山伏」の一部を上演。本物の狂言の前に、生徒らは神妙な顔つきでしたが、こっけいなしぐさとせりふ、物まねが思わず笑いを誘い、会場は和やかな雰囲気になりました。「目にする機会は少ないとは思いますが、ぜひ狂言に関心を持ってほしい」と、最後に全員で「ハアハハハハハ」と狂言独特の笑い

45チームの熱戦に大声援  
伊集院小と湯田小が制す

いじゅういんかっぱドッジボール大会



「いじゅういんかっぱドッジボール大会」が二月十二日、伊集院総合体育館であり、小学生の四十五チームが熱戦を展開しました。

そろえました。

大会実行委員長の米丸聡さん（伊集院小PTA会長）によると、この大会は伊集院小の学級PTAでのレクリエーションで、六年生が五年生にドッジボールで負けたことによる再試合申し込みがきっかけになり、旧伊集院町全体に広がったというユニークな歴史を持つ大会。今年で七回を数える大会は、新市発足後初の大会とあって、東市来地域からも三チームが参加。

PTAが中心となる大会は、審判も県ドッジボール協会から本格的に講習を受けた保護者。応援席も大勢の保護者で埋まりました。小学五、六年生のAパートと四年生以上と女子のBパートに分かれて戦った結果は次のとおり。

【Aパート】  
優勝 伊集院Fタイレンジ（伊集院小）  
二位 ポセイドン（伊集院北小）  
三位 ジャガレンジ（伊集院小）  
十六人の大和（妙円寺小）  
【Bパート】  
優勝 ゆだっこビギナーズIII（湯田小）  
二位 北小キッズ（伊集院北小）  
三位 ブタ12楽坊（伊集院北小）  
妙小ファイターズ（妙円寺小）

宝くじ助成で棒踊り備品購入

伊集院町郡地区保存会



宝くじの事業収入を利用した「平成十七年度コミュニティ助成事業」で伊集院町郡地区棒踊り保存会が、踊り棒や久留米緋など踊りの備品

一式を購入しました。宝くじの収益金は、このように還元融資として、地域づくりに役立っています。

健全な子どもの育成を目指して

伊集院P連委嘱研究公開

地域内の八単位のPTA会員が一堂に会して、伊集院PTA連絡会委嘱研究公開が二月四日、伊集院北中学校でありました。

協議を行いました。その後、KKB鹿児島放送アナウンサーの馬場雄二さんによる講演が行われました。

これは、学校・家庭・地域がそれぞれの使命や役割を認識し、PTA活動のあり方について研究、実践を行い、子どもの健全育成に向けて会員相互の資質の向上と活動の充実・発展を図ろうと毎年行われています。



# 春成幸男さん 半生記の出版を盛大に祝う

出版記念祝賀会

一月二十二日、ご両親が日吉町出身という春成幸男さんの「やそじの旅路」出版を記念した祝賀会が、国民宿舎「吹上砂丘荘」でありました。

春成さんは旧薩摩藩（薩摩・大隅・日向）出身の経営者などで結成されている（社）三州倶楽部（所在地・東京都）の会長を平成八年から八年間務められ、昨年八十歳を機に、自分の半生記として「やそじの旅路」を出版。祝賀会には協田県副知事や大西県商工会議所会頭をはじめ、ゆかりの約五十人が出席し、盛大に祝いました。

祝賀会に先立ち、春成さんは「ふるさと日吉町の発展を願って」と題して講演。「自然を生かした地場産業の育成や素晴らしい環境を生かした観光開発と次世代の若手の育成を期待したい」とふるさとに寄せる熱い思いを語りました。

また、今回、出版した本を小中学校に贈呈されたほか、市社会福祉協議会日吉支所に多額の寄付もされました。



## スタンプラリーで直売所をPR

直売所めぐり

日吉地域かごしまの食交流推進協議会が主催して、一月十四日から二月十二日までの一か月間、地域直売所めぐりスタンプラリー大会が開催され、日吉地域からも「城の下物産館」と「吉利物産館」が参加しました。

期間中に参加したすべての直売所（九店）を回ると、抽選ですてきな賞品がもらえるというイベントを盛り上げようと、各直売所では趣向を凝らした催しが。城の下物産館では一月二十八日に日吉特産品協会が中心になり、来場者に綿菓子や豚汁が振る舞われ、吉利物産館では、二月十一日に、会員や近くの農家がつくった新鮮野菜や豚汁、おこわなどが用意され、訪れた人は喜んで買い求めていました。



▲ 城の下物産館



▲ 吉利物産館

## 交通安全街頭キャンペーン せつぺとべねぎで安全を呼びかけ



一月三十一日の夕方、日吉駐在所前の県道伊集院日吉線沿いで、日吉中学校の生徒会役員九人と駐在所連絡協議会の会員十四人で交通安全街頭キャンペーンを実施。せつぺとべねぎを配り、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

一月二十九日、日置小附属幼稚園で、保護者が参加して、たこつくり会がありました。つくり方の基本的な説明を受け、工夫しながらオリジナルのたこが完成。早速、始まったたこ揚げ大会ではなかなか揚がらないものや見えなくなるくらい揚がるものさまざま。寒さを忘れて楽しみました。



## 手づくりたこで親子のふれあい

日置小附属幼稚園



二月十三日、日吉ふれあいセンターで福祉救援ボランティア訓練があり、市民百人あまりが参加しました。

訓練は社会福祉協議会が主催し、東シナ海沖で地震が発生し、津波による災害が発生したとの想定で、救援ボランティア活動の基本的な流れを模擬体験するかたちで行われました。

参加者はまず、四つのグループに分かれ、非常食作りを体験。その後、災害現地本部運営スタッフ、仮想被災者、仮想ボランティア、炊き出し班に分かれました。実際



に救援活動の組織体系を作り、被災者のニーズ把握や提供できるボランティアの内容確認など、お互いの需給をよりよい状態で満たすための流れを体験しました。

県社会福祉協議会ボランティアセンターの鎌田所長からは「初めての訓練にしてはとてまうまくいった」と講評。「災害が発生した場合は現場でのスタッフが不足する。いざという時には駆けつけて、今回の体験を生かしてほしい」と話しました。

終了後、作った非常食をみんなです食しました。

## 津波を想定し、訓練に百人

救援ボランティア訓練

## 日吉地域チャリティゴルフ



2月5日、旧町長杯を引き継ぎ、市民チャリティゴルフ大会があり、107人が参加。優勝者は次のとおり（敬称略）美山・江口コース 宮脇真一、江口・吹上コース 平野秀夫、吹上・美山コース 川畑哲矢



## クジラ出現

2月20日、天神ヶ尾海岸沖に鯨が現れました。北から南へゆつくりと移動しながら、時折潮を吹く珍客の動きを、付近の住民もじっと見守りました。

# 『吹上アスパラ』の安心・安全を認証

## 吹上アスパラガス出荷式・かごしまの農林水産物認証交付式

生産者の安心・安全な生産への取り組みを消費者に正確に伝え、鹿児島県産農林水産物に対する信頼を確保するために創設された、かごしまの農林水産物認証制度。『吹上アスパラ』が二月二十六日、この認証を受けました。日置市では昨年五月の「日吉リョクク」に次いでの認証です。

旧吹上町でアスパラガスの栽培が始まったのは平成十年。四戸、三十四戸で取り組みました。平成十三年三月には「吹上町アスパラガス生産部会」も発足、今年から新規就農者三人も加入。吹上町農業公社も含めた十三戸が三、九畝栽培しています。

産部会管理舎で行われました。一年の安定した収穫と高値取引を願う出荷式。今回はそれに先立ち、かごしまの農林水産物認証制度の認証状が鹿児島県農業・農村振興協会から授与されました。また、JAグループエコ農産物等認証制度等の認証状も交付され、安全、安心の太鼓判を得た初出荷となりました。

「良質な完熟堆肥による健全な土づくりから取り組んでいる」と生産部会長の三窪球利さん。平成十七年には部会員全員が県知事認定の「エコファーマー」となりました。「新規就農者も認定を取得し、栽培



技術の高位平準化を目指したい」と決意を語りました。

出荷式後、女性会員手づくりのアスパラ料理が振る舞われました。揚げ、炒め、焼き、漬物。出席者はアスパラ独特の食感に顔をほころばせました。

今年の出荷量は、昨年を大きく上回る六十トを見込んでいます。一日で五トも伸びるというアスパラガスのように、大産地化へ向けた取り組みに大きな期待が寄せられています。



▲かごしまの農林水産物認証を授与される三窪部会長



▲くす玉を割って初出荷を祝いました



▲伊藤知事にも吹上アスパラをPRしました

# 豊かで誇りの持てる吹上地域に

## 吹上地域生涯学習推進大会・女性大会

生涯学習による充実した人生や地域をつくり、男女共同参画社会の実現を目指そうと、平成十七年度生涯学習推進大会・第二十七回女性大会が二月十二日、吹上中央公民館で開かれました。大会は、女性の華麗な舞踊で開幕。講座が修了した花田コースとマレーシア語講座に修了証が授与されました。また、長年社会教育活動に功績のあった四人、七団体に表彰状が手渡されました。青少年海外派遣やマレーシア交流に参加した生徒は、心身で触れ



▲一年の学習成果を披露(マレーシアダンス)



▶講演する篠原信一さん



▶社会教育功労者を表彰

た異国での生活体験を率直に発表。上石津町で交流した児童は、大会に出席した小川町長らと「末永い交流を続けましょう」と訴えました。地域内女性団体の代表者九人は、社会教育、福祉、保健、農業などの各分野で、女性の視点で生き生きとした活動の様子を紹介しました。記念講演にはシドニー五輪柔道銀メダリストの篠原信一さんが登壇。重量級らしい落ち着いた口調で「夢を持ち、目標を持って、工夫しながら継続して努力することが大切」と話しました。

# 吹上魂で熱走!

## 県下一周駅伝に吹上から9人が出場

二月十八日から五日間にわたり健脚が競われた、第五十三回鹿児島県一周市郡対抗駅伝競走大会に、日置チームの選手として吹上地域から九人が出場。十六年ぶりの日間二位をはじめ、チームのBクラス復帰を力走で支えました。九人はいずれも吹上中学校陸上部出身。魂のこもった熱い走りは私たちに大きな勇気をくれました。出場選手は次のとおりです。



首藤 有弥選手 (永吉ふもと) 松枝 翔選手 (笠岡) 右田 哲也選手 (下田尻) 下野 青海選手 (下和田) 下野竜太郎選手 (下和田)



馬場 亮治選手 (今田) 馬場 健成選手 (今田) 篠原 正大選手 (坂元) 能勢 勇作選手 (下田尻)

数字は出場回数

旧吹上町と「友好のまち」を宣言していた岐草県上石津町との交流を、日置市に引き継ぐために「友好都市宣言」継承締結式が二月十一日、国民宿舎吹上砂丘荘でありました。



▲交流を誓い握手する小川上石津町長(右)と宮路市長



▶新たに取り交わされた締結書

式には島津豊久公顕彰会をはじめ関係交流団体や関係者が立ち会い、さらに強く結ばれる絆を確認しました。関ヶ原合戦の敵中突破で島津義弘公を帰還させるべく最後尾で奮戦、上石津の地で自刃した永吉島津家ゆかりの島津豊久公と、手厚く葬った当地の名主、三輪一斎の出会いから四百六年。その交流に新たな年輪が刻まれました。三月二十七日、上石津町は合併して大垣市となります。

日置市 上石津町 友好都市宣言 継承締結

# 歴史的な絆を 相互の発展に



第53回 県下一周市郡対抗駅伝競走大会

総合8位(Cクラス優勝・Bクラス復帰)

2月18日から22日にかけて、県内12地区(各地区登録選手21人)を代表する選手が早春の県内53区間、593.1kmを駆け抜けました。

日置チームは郷土入りの2日目、熱情的な声援を受けて激走。第3区(日吉～伊集院間)で先頭に立つと伊集院、東市来、市来、串木野をトップで通過し、切れることのない沿道での大声援を受けました。第6区までトップを譲らなかったものの出水のゴールでは第2位。16年ぶりの日間2位と大健闘しました。3日目、4日目までは好走が続きましたが、最終日の5日目は、初出場10人と高校生13人を要するチーム事情が影響したのか、最後に力尽きてしまいました。

しかし、総合第8位(前々年度9位、前年は参考記録)とCクラス優勝を果たし、来年度Bクラス復帰することができました。沿道でのご声援ありがとうございました。



写真右) 第1日、最終区をゴールに向かう小園選手

写真下) 第4日、8区から9区 右田選手から宇都選手へのリレー



日置市選手等紹介(敬称略)

区分	氏名	住所地	所属	回数	区間最高順位
観察員	米澤 幸	東市来	市来保養院		
コーチ	今屋 譲	吹上	日置市消防本部		
"	船倉 利幸	伊集院	日置市役所		
"	前屋敷 満	日吉	日置市役所		
選手	小園 勇作	東市来	日置市消防本部	13	5日目 11区 3位
"	馬場 亮治	吹上	日置地区陸上競技協会	8	4日目 4区 8位
"	有馬 拓美	東市来	江口蓬萊館	2	2日目 10区 1位
"	満園 和樹	"	県青少年研修センター	初	4日目 5区 5位
"	篠原 正大	吹上	第一工業大学1年	4	1日目 4区 6位
"	赤崎 研二	東市来	鹿児島商業高校3年	3	5日目 5区 2位
"	能勢 勇作	吹上	鹿児島南高校3年	3	2日目 2区 2位
"	宇都 邦和	伊集院	鹿児島実業高校3年	3	3日目 1区 3位
"	下野竜太郎	吹上	樟南高校3年	初	3日目 7区 1位
"	首藤 有弥	"	阿久根農業高校3年	初	1日目 8区 3位
"	新 健世	伊集院	鹿児島商業高校2年	2	2日目 1区 3位
"	中村 泰士	東市来	鹿児島商業高校2年	初	2日目 3区 1位
"	右田 哲也	吹上	鹿児島南高校2年	初	2日目 9区 2位
"	橘木 宏幸	東市来	伊集院高校2年	初	4日目 2区 6位
"	下野 青海	吹上	鹿児島城西高校1年	初	3日目 4区 7位
"	松枝 翔	"	鹿児島実業高校1年	初	4日目 3区 4位



連携した活動で力を合わせ  
さらに魅力ある地域に

生活研究グループが統一

二月十三日、東市来文化交流センターで約七十人の会員が参加して、日置市生活研究グループ連絡協議会の設立総会がありました。

生活研究グループは、魅力ある農村の生活や活力ある地域社会の実現のために活動している女性団体。これまで旧四町ごとに技術研修や地域産物を生かした特産品開発、消費者交流会といった、それぞれの特色を生かした活動に取り組んできました。

日置市の発足に伴い、組織の統一に向け、昨年の八月より組織編制検討委員会を立ち上げ、協議してきましたが、四地域が一つになって連携することで組織の強化、魅力ある地域づくりを促進しようと、日置市連絡協議会の設立となりました。

初代会長に選出されたのは吹上町の佐土原マサさん。これまでの旧四町の組織は支部と名称を改め、しばらくは旧町の取り組みを継承しながら、全体ではリーダーの技術研修を開くことなどを承認。

互いに技術や知識の情報交換を積極的に進め、力を合わせ組織の発展につなげることを確認していました。



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

おめでとう

本庁 2月受付分(敬称略)

(出生児) (保護者) (自治会)

杉園 佑太郎 信二郎 妙門寺五区

今村 心音 裕希 向江町

上大田 晏莉 和巳 瀬戸内

春田 晟弥 洋一 麦生田下

富ヶ原 好美 美郎 猪鹿倉

高田野々 桂 良太 徳重東

飯屋朱々 奈 智喬 天神馬場

末永 千桜 貴久 麓東

下堂園 希咲 幸治 瀬戸内

原田 幸太郎 康雄 郡内

久富木 万恵 良 下神殿四区

福永 笑加 善勝 向江町

田代 彩乃 啓一朗 天神馬場

東市来支所

(出生児) (保護者) (自治会)

國生 裕大 知則 麓下

下池 翔真 忍 上野西

下池 しいな 真一郎 田之湯

日高 大地 隆 田代西

片平 幸希 雄二 皆田西

片平 真綾 雄二 皆田西

宮前 朔太郎 英樹 田之湯

日吉支所

(出生児) (保護者) (自治会)

奥 マツエ 91 秋光園

中間 ヒサ 89 城之町

新川 智 80 皆田東

益山 正直 52 美山上前

おひやみ

本庁 2月受付分(敬称略)

(故人) (享年) (自治会)

末吉 勝 67 窪田

有村 進 92 大田上

久富木 初美 55 下神殿一区

栗之丸 定吉 84 中福良

下御領 フチエ 83 瀬戸内

福元 ノブ 81 郡内

坂元 エイ 104 つしヶ丘二区

肥後 仙吾 89 徳重東

室屋 トク 82 下神殿一区

瀧山 リツ子 80 八幡

山口 ハナエ 87 中福良

東 ミノ 89 妙門寺二区

東市来支所

(故人) (享年) (自治会)

米澤 道男 92 杉之迫

濱崎 一美 73 神之川

益山 正直 52 美山上前

新川 智 80 皆田東

中川 ヒサ 89 城之町

日吉支所

(故人) (享年) (自治会)

下笠 スマ 94 笠ヶ野

山内 数夫 88 柿の谷

久山 武光 75 青松園

蜂須賀 一枝 88 内門

久保 政吉 91 宮下

加藤 新吉 98 上の馬場

伊堂 寺キク 92 並松

海江田 清次 82 植木

満富 不二 90 小園

月野 豊 72 出来場

吹上支所

(故人) (享年) (自治会)

山下 ヤエ子 94 今田

山口 サチ 84 新川原

徳永 森春 82 小牧

山下 正義 87 下与倉

榮福 弘 66 原園

上野 美代子 86 小牧

福田 義教 88 日吉町日置団地

徳満 フミ 89 上草田

池田 正子 71 今田

樋口 幹雄 91 北湯之元

家村 敏幸 58 小野馬場



日置市の「市花」と「市木」

日置市誕生一周年を迎えるにあたり、日置市のシンボルとなり、市のイメージアップを図るため、「市花」と「市木」を募集します。奮って応募ください。

【応募方法】 どなたでも応募できます。市内の各公共施設に備え付けの応募用紙か、官製はがき及び普通用紙(A4)を用いて、次の必要事項をご記入の上、ご応募ください。詳しくは市内の各公共施設に備え付けの応募要領をご覧ください。

【募集期間】 平成18年4月21日(金)必着です。

【必要事項】 記入していただく事項は次のとおりです。

①応募の種類(市花・市木) ②市花、市木の名称 ③応募者の氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤郵便番号および住所 ⑥電話番号 ⑦市花および市木を選んだ理由

【応募先】 および【問い合わせ先】

日置市役所本庁総務課または各支所地域振興課

《代表問い合せ先》 日置市役所総務企画部総務課

電話 099(273) 2111(内線1216)

参考 旧町の町花&町木

東市来町 花(カンナ) 木(サザンカ)

伊集院町 花(うめ) 木(いす)

日吉町 花(つつじ) 木(つばき)

吹上町 花(つつじ) 木(さざんか)

《訂正とお詫び》 広報2月号5頁の年齢別職員構成表の年齢区分に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤)	(正)
60歳以上	60歳以上
56-60	56-59
52-56	52-55
48-52	48-51
44-48	44-47
40-44	40-43
36-40	36-39
32-36	32-35
28-32	28-31
56-60	24-27
20-24	20-23
20歳未満	20歳未満



# ギョウワ 私の作品展

## 「書道」

内野 綾子さん(75歳) | 日吉町吉利

公民館講座で習い始めてから約12年、3年前からはペン習字も。字が下手だから始めたのですがなかなか上達しません。南日本書道会の認定は10級から始めてつい最近5級に進級。

とにかく字を書くのが好きで、年賀状も筆を使って書くようにしています。贈り物をする時も必ず手紙を添えます。元氣なうちは続けたいですね。



# まちの文化財 ⑩

## 元養母の田の神(東市来地域)

東市来地域の元養母自治会にあります。宮崎県諸県地方や大隅北部に多く見られる衣冠・束帯を着た田の神像で、薩摩半島では珍しいものです。昭和43年3月に県の有形民俗文化財に指定されました。

衣冠・束帯というのは、朝廷に仕える貴族の礼装です。神社の神様はこの姿で描かれることが多いため、田の神像もこの姿で作ったと考えられています。このような田の神像は神像型とも呼ばれています。

諸県地方や大隅北部の神像型は、160体ほどで、全て座った姿で作られているようですが、元養母の神像型は立像です。このような神像型立像は、いちき串木野市と日置市北部に20体ほどあるだけです。

元養母の田の神像は、長いエイを垂れた冠をかぶり、袖は地につくほど長く、背後にも裾が長く垂れ、手には笏を持っています。高さが92cmほどで、袴の背面と左袖に文字が刻んであり、明和6(1769)年に作られたことがわかります。

引用参考文献 『東市来町の田の神・石橋・石敢当』  
『黎明館特別展示展「田の神」展示図録』



Access  
本庁から車で20分  
東市来支所から車で10分

みなさんは音楽に興味がありますか。私の将来の夢は音楽家です。音楽家といつて



# ゆめ & チャレンジ

## 『音を楽しむ』

湯田小学校六年 西ノ園 美弥さん

も、いろんな職がありますが、私はいろんな音楽の仕事をしてみたいです。きっかけは、四年生から入った、学校の音楽クラブでのことでした。そこで知った音楽は、文字どおり「音を楽しむ」というものでした。音を楽しんでいけば、楽器が演奏できなくてもいい。音楽が好きであれば、それでいい、といっているように、この言葉を私はとても好きになりました。私の一番楽しい時は、仲間といっしょに合奏している時です。将来、この楽しさを、世界の人々に伝えられたらと思います。いや、伝えることができるようになるために、一生けん命勉強し、楽しい音楽を世界の人々にプレゼントしたいです。

# いきいき ひと

## シリーズ⑩



吹上町の新規就農者支援制度を利用し、平成十四年から二年間、アスパラガス栽培を学び、現在ハウスで35町を栽培しています。大阪で生まれ育ち、大学、勤めは首都圏ともつばら都会暮らし。農業とのかかわりは、埼玉県加須市での市民農園ぐらい。当時、会社勤めでほとんど作業する時間はとれませんでした。たまにする農業のまねごとで、生産する楽しさや自然相手の厳しさは実感していました。就農前は、実績を伸ばしている企業の株式関連事務や開示関連業務を統括するやりがいのある仕事。「会社勤めに不満があったわけではありませんが、もつと社会に貢献していると実感できる仕事を」と、農業にやりがいを感じ、就農を決断。研修制度が充実した地方を探していましたが、行政の熱心さと有利な制度、大学の友人に吹上町出身がいたという縁もあり、吹上町での就農を決めました。台風や虫の被害など、予想外のこともあったが、まあまあ順調な滑り出し。「新規参入し、数年で自立できるような甘いものではない。本場の修羅場はこれからです」とまずはアスパラガス栽培に全力投球。「農業を一次産業としてとらえるだけでなく、サービス産業という視点で企業化も視野に。企業的な経営、付加価値、市場開拓など、これまでの経験を生かしたい」と森下さんの挑戦はこれからです。「森下を呼んでよかったと思ってもらえるように、地域の活性化に少しでも貢献できれば。それが支援していただいた恩返しだと思います」

## 自立できる基盤を整え、地域にも貢献したい



森下 恵介さん [48歳]  
もり した けい すけ  
佳子さん [47歳]  
よし こ

吹上町中原 (西宮内自治会)

生徒数一万人を超える大規模塾の幹部社員として経営中枢にかかわり、成長企業のIR担当者として将来を嘱望されていたが、退社。平成14年に埼玉県から家族5人で吹上町に移住。現在、アスパラガスを栽培する農家。大阪市出身。



古垣 慧士くん(6歳8か月)

父 克己さん 母 正美さん  
(日吉町日置)

### ■おかあさんから

4歳から空手を習い始め、体も強くなったね。「慧眼の士」から命名、その名のとおり、物事の本質をしっかりと判断でき、強くたくましく歩んでほしい。



末廣 優佳ちゃん(3歳7か月)

はるな 遥奈ちゃん(2歳)

父 省吾さん 母 美穂さん  
(伊集院町徳重)

### ■おかあさんから

元気で明るく、素直な子どもに育ててほしい。

元気のあるお子さんの写真を募集しています。市内に在住の6歳以下のお子さん  
氏名 生年月日 保護者氏名 お子さんの近況・お子さんへのコメント 広報へのご意見  
連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課 住所は未定までお送りください。

